

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		健人堂 キッズクラブⅡ		公表日 2025 年 3 月 31 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			設置基準であるスペースは十分あります。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			基準人員をみたしています。但し、職員の研修、休み等で利用児童にご迷惑をかける場合もあります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	2階建ての為に、階段昇降の際に配慮が必要な場合は補助をしています。	建物が2階建てで階段があり、バリアフリー化されていませんが、室内は配慮しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		室内でも幅広い活動が出来る様に、活動の場所を1階と2階の二カ所を設置しています。	1階には「なかよしルーム」を設置し、余暇の時間には児童が自由に過ごせる空間を、2階には体を動かさず空間を設けています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別対応が必要な児童の場合、職員が必ず1名ついて支援にあたります。また、児童の日々の状態で個別の部屋を使用します。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			支援終了後は、振り返りを行い、次回の支援目標を設定しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			保護者様に評価調査を行い、意向の把握をしています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		児童が来所前には必ず全職員が業務内容の把握をしています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者評価は現時点では行っておりません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修後は、参加した職員より研修内容の伝達を行っています。	勤務時間に応じ、個別で研修に参加しています。今後も積極的に参加していきたいと思えます。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			作成に時間がかかり、公表に時間を要しましたが、ホームページにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			保護者様や子どものニーズを把握した上で、計画書を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童指導員、指導員も含め時間を取り話し合いを行っております。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			きちんと行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			事業所で作成したアセスメント様式を使い、行っています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		以前より、5領域に沿って支援内容を設定しています。	今年度、支援プログラムを明確にし公表を行いましたので、それに応じた支援内容を設定していきます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			ミーティングでは職員全員が意見を出し、色々な視点での児童のニーズの把握や、支援内容を考えています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			一人一人の特性に合わせた内容で、プログラムを作成しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの状況、支援内容に応じて、プログラムを作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		職員全員で統一した支援内容を十分に把握し、役割をわけて支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		ガイドラインに基づき、PDCAサイクルを行い、適切な支援を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援終了後は、振り返りを行い、記録をとり、支援の改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		モニタリング（6か月以内）を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		課題設定や全体活動として取り入れ、子どもの意見を取り入れながら、主体性を発揮できるように支援しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		子どもにいくつかの選択肢を与え、考えて決める場所の提供をしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて連携をとります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校お迎え時に、各々の担任の先生とお話をさせて頂いております。また下校時間に関しましては保護者様より時間割を送ってもらう等の対応をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		今年度は対象児童がいませんでした。今後、対象の児童がいる場合、相互関係に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		現在まで対象児童がいません。今後、このような件がございましたら、対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		研修を通して連携を図り、時には質問し助言を受けております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		今年度の活動はありませんでしたが、来年度に向けての計画がありますので、交流の機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		可能な限り参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		モニタリングやご自宅送迎の際に、保護者様と日々の児童の状況をお伝えし、またサービス提供記録をお渡ししています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		ペアレントトレーニングは行っていません。開催される研修等がある場合、パンフレットをお渡しします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に行っております。また、変更ができた場合には都度、保護者様に説明をしサインを頂いております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		モニタリングや、保護者様や児童よりご相談頂いた際に見直しを行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		支援計画を作成後、保護者様に説明を行い、同意のサインを頂いております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて、相談をお受けしています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		今後、検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速に対応し、説明と解決に努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月のお便りの発行が出来ていません。来年度よりきちんと発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報が記載された書類は鍵付のキャビネットに保管しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		伝わりやすい方法での意思疎通の配慮を行っております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		今後、地域住民との交流を図り招待をする等、開かれた事業所運営に努めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルを策定し、職員全員に周知しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		毎月の避難訓練と、年に一回の外部による訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		ご家庭より連絡をいただくと共に、こちらからもお声掛けをしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		必要に応じ、対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		月に一回の安全管理の会議を開き、安全管理が十分になされた支援を行っております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		契約時に説明を行い、利用契約書に記載しております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		今年度は事案がありませんでしたが、今後発生した場合、きちんと検討していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		事業所内研修を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		契約時に説明をし、利用契約書に記載しています。	